

1 令和5年度第5回定例会

日 時： 令和6年2月13日（火）午後2時30分から午後4時00分

場 所： 中央図書館活動室2・3

出席者： （図書館協議会委員）委員7名
（事務局）図書館長、企画運営担当主査2名、総務担当主査、
総務担当主任

会長 本日の欠席者はいません。多摩市図書館協議会規則第4条により令和5年度多摩市図書館協議会第5回定例会を開催する。

事務局から配布資料の確認をする。

事務局 配布資料については、議題ごとに確認する。

会長 議題1 図書館協議会図書館事業評価（外部評価）について、事務局から説明をお願いします。

図書館長 資料については、5・1・1～5・1・3となる。多摩市立図書館の運営改善を図ることを目的に事業評価を来年度も実施するものである。スケジュールについては、案にお示ししたとおり第1回目で外部評価をする評価項目（基本目標）が決定されれば、第2・3回目については各項目の外部評価について意見交換し、第4回目でまとめていければと考えている。来年度においては、事業評価と計画策定が同時進行していくことになるのでご承知いただければと思う。

事業評価項目については、選定資料にあるとおり基本目標

（2）子どもへのサービスの充実の4を評価対象と考えている。基本目標（5）弾力的な管理・運営の11・12・15・16についても評価対象と考えている。その中の12については、すでに事業が完了していること、15については毎年度評価をしているので、事務局としては除外してもいいのではないかと考えている。よって、11・16を評価対象にしてはどうかと考えている。

会長 事務局から説明のあった議題1の基本目標についてご意見等があれば発言をお願いします。

会長 外部評価のスケジュールは、だいたい本年度と同じに進めていくということと評価項目3項目に絞っていくことでスケジュールを前倒しにしていけるということである。

特にご意見等ないので、そのとおりに進行していくことにす

る。

図書館長 では、3項目に絞って進めていくこととする。スケジュールに関しては、事務局で改めて手直ししてから再度メールさせていただく。

会長 議題2 多摩市学びあい育ちあい推進審議会委員の選出について、事務局から説明をお願いします。

図書館長 資料については、5・2・1～5・2・3となる。多摩市学びあい育ちあい推進審議会は、多摩市教育委員会の附属機関として設けられており、本年度で任期が終了することから、審議会の事務局より今年度あらたに選出の依頼があった。組織構成に図書館協議会から1名選出することになっていることから本日の定例会にて選出をお願いします。

スケジュールについては、資料のとおりになる。

会長 現在お願いしている委員に、よければ引き続きお願いしたいと思うがいかがか。

特にご意見がなかったので、お願いすることとする。

会長 議題3 「(仮称)第二次多摩市読書活動振興計画」策定方針について、事務局から説明をお願いします。

図書館長 資料については、5・3・1～5・3・14となる。策定方針に関するこれまでの経緯は、前回の定例会にて説明させていただいているところなので、割愛させていただく。

計画策定の方針は、5・3・2に分かりやすくお示ししており多摩市読書活動振興計画と第三次多摩市子どもの読書活動推進計画を一本化していくことが令和3年度教育委員会にて決定したものである。

令和7年度策定予定の(仮称)「第二次多摩市読書活動振興計画」の基本方針に「市民の「知る」を支援する」については、引き続き継続していく予定であり、5つある運営方針については、部分的な見直しが必要と考えている。特に子どもの運営に関する部分について、見直す予定としている。

また、次期計画のポイントとしては、各館の地域の特性やニーズ等も加味しながら運営手法の方向性のスケジュールを盛り込んでいく予定である。

計画のスケジュールは、令和5年度中に事務局内での他市への聞き取り・要綱制定及びアンケート実施準備。令和6年度は、策定委員会・有識者会議の開催をし、内容を協議・決定する。令和7年度にパブリックコメントを実施し、9～10月頃に計

画決定とする。計画の決定が令和7年度に入ってからとなることをご承知おきいただきたい。

策定体制は、策定委員会を関係課長10名で構成し、計画の案を検討していく予定としている。

意見照会は、有識者会議を13名以内としており、策定委員会で話し合われた内容に対する案の方向性等のご意見をいただき、教育委員会へ報告する。委員構成は、資料のとおりである。その他の審議会においてもご意見をいただくことになる。

市民参画の一つとしてアンケートを実施するが、こちらの内容については図書館のニーズを知るため対象別にしており、ぜひ委員の皆様にも見ていただきたい。

アンケートの対象においては、資料5・3・3のとおり。ここで新たにアンケート実施をするのが①のプレパパプレママと②の乳幼児の保護者となる。それ以外は、前回のアンケート対象と同様である。また、⑦にある一般市民向け（中学生以上）についても実施予定である。実施期間は、対象によって多少異なり今年度中でなく来年度に予定しているものもある。

実施方法は、紙による配付と回収に加えてインターネットでの回答もできるように整える予定としている。

アンケートの配付・回収は、資料のとおりでありより多くの方のご意見を聞くためチラシにQRコードを添付するとしている。

アンケート①～⑥に関しての内容は、子ども読書活動の市民ボランティア連絡会にご意見をいただき決定したところである。本日は、⑦にある一般市民向けのアンケートの内容を中心に見ていただきたいと考えている。

4月には、アンケートの集計をして随時報告していく予定としている

資料5・3・4～5・3・14にあるアンケートは前回と比較するために内容はほぼ同様のものを作成し、赤字になっている箇所が加筆・修正した部分になる。5・3・14については、前回アンケート実施していないので内容を確認してもらいたい。

会長 事務局から説明のあった議題3の「(仮称)第二次多摩市読書活動振興計画」についてご意見等があれば発言をお願いします。

会長 計画策定を一本化することとアンケートのカテゴリーは7つで実施するという。また、今回の定例会にて、一般

市民向けアンケートにある18項目について、ご意見をいただきたい。

図書館長 アンケート項目について、7つある図書館のなかで市民は目的に応じて使い分けをしているのかどうか実情を把握するべく、問8の設問を入れた。問15にある非来館型サービス利用についても、どれだけの人が利用しているか把握するべく設けた。問16にある障がい者サービスについては、利用者が減少しているので今後どのようなサービスが必要か検討したく設けた。また、最後の問18は自由な意見をいただけるよう設けた、項目内容等でご意見をいただきたい。

会長 設問項目に最もよく行く図書館の理由は聞いているのか。二番目の理由は聞いているが、問9は二番目に行く理由か。

一番よく行く図書館の理由目的も入れてもいいのではないか。

委員 問13にある図書館サービスについて、そもそも一般の方々はレファレンスサービス等の内容を知らないのではないか。言葉の説明を入れてもいいのではないか。

図書館長 サービスの内容に対して説明を加えることも検討されたが、知らないことも回答項目に入れているので、認知度と利用状況を把握したいと考えている。

会長 回答にある1でカバーできると考えたのか。

委員 言葉の意味が分からないと回答できないのではないか。

副会長 問13の回答項目にある、「知らない」と「興味がない」は全く捉え方が違うと思うので、回答の項目をもう一つ増やしてはどうか。もう少し工夫してもいいのではないか。

問13の2・3には、脚注で説明があってもいいのではないか。問3にある来館手段の設問にどれくらいの距離がかかっているかが分かるものも加えてはどうか。

委員 問3は、一番に図書館を利用する目的の設問になるのか。そうであれば、そのように記載したほうがいい。

図書館長 問3は、全体的な利用状況を聞いていて、問6はその中で最もよく行く図書館の設問になっている。

副会長 問6・8にある設問の下に来館手段と時間を入れてみてはどうか。

問3は、大枠で図書館利用の頻度を聞いているととらえている。複数回答があると実質的な結果になりにくい。

図書館利用の一番目か二番目なのかを明確にしたほうが結果

の精度が上がるのではないか。

問3の1・2に対しては、設問に多摩市の図書館を入れてはどうか。問3の3は、一番目と二番目のそれぞれに項目を入れてはどうか。

そうすれば多摩市にある全部の図書館を含めて利用している頻度が分かる。

会長 全体の図書館利用頻度を設問して、のち一番目、二番目と聞いて目的・手段を聞くのはどうか。

委員 中央図書館開館に伴い図書館利用の目的が異なっているもので目的・手段が分かる集計結果であったほうがいい。

図書館長 今一度、項目を整理していくことにする。

会長 どんな目的で地域館に行っているのか知りたいのであれば、設問に入れてみてはどうか。問9の設問では地域館になぜ行くのか特色を見出すのは難しいと思われる。

図書館長 特色のヒントになるものを導き出せたらいいのではないか。適した選択肢を作成するのに非常に苦慮したところであるが、もう少し工夫する。

委員 問4は、一番目・二番目に関わらず図書館に行く目的の両方と捉えてしまうのでいいのか。

委員 アンケートは、できるだけシンプルなほうがいい。

問10は、紙だけでなく電子も含めていいのか。

図書館長 障がい者サービスの利用が減少しているのには驚いた。認知症のバリアフリーは含めていないのか。

電子図書も本として含めて構わない。

認知症のかたもサービスの利用対象として捉えているが、アンケート項目に含めるのは難しい。障がい者サービスの幅は広く、図書館の利用が困難な方については、できるだけ対応しているところである。

会長 集約すると図書館側として、一番目、二番目に利用する目的・手段を把握する必要があるならば、設問項目を分けてみてはどうか。問10の電子図書は、図書館を利用していると捉えてよいか。

図書館長 問10の電子書籍は、本に含むと東京都のアンケートでは記載されているので図書館を利用していると捉えて構わない。

問13については、設問項目2・3に注釈をつける。

「知らない」と「興味がない」の設問項目を分ける。

問9については、選択肢の内容を工夫する。

- 委員 電子書籍を利用したことが図書館を利用したことになるのか
ならないのか人によって捉え方が違うので、自主性にまかせて
もいいのではないか。
- 委員 資料5・3・7にあるアンケートにアンケートでの「本」は
紙の本とすると書いてあるは、このままでいいのか。
こちらだと電子書籍は含まないことになる。
- 図書館長 児童・生徒向けには、前回のアンケートでも「本」を紙の本
として調査しているので今回も同様としている。よって、この
ままで問題はない。
ご意見いただいた点については、修正・加筆等して再度確認
をしていただく予定としている。
資料5・3・1の4 策定体制の(2)意見照会②その他の
審議会等に修正箇所がある。
審議会の名称にある第三次多摩市子どもの読書活動推進連絡
会は、第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連
絡会に修正をお願いする。
- 会長 報告1 令和4年度多摩市立図書館事業評価について、事務
局から説明をお願いする。
- 図書館長 資料については、5・4になる。
令和4年度の多摩市立図書館事業評価をまとめたのでお示し
する。教育委員会主催の定例会や多摩市学びあい育ちあい推進
審議会においても内容は報告しており、ホームページにも掲載
済みである。「今後の方向性」を図書館側で加えている。来年
度も引き続き事業評価をしていきたいと考えている。
- 会長 事務局から説明のあった報告1についてご意見等があれば発
言をお願いする。
- 委員 P8の⑦島田療育園と記載されているが、島田療育センター
に修正をお願いする。
- 図書館長 ホームページの修正はできるが、すでに報告した資料につい
ては修正ができない。
- 会長 内容には問題がないが、P13にある図書館の自己評価につ
いてだけ自己評価対象が記載されている。他の項目には、ない
ので、ここも削除する予定だったのではないか。削除をお願い
したい。
- 会長 報告2 市民ボランティア活動養成連続講座(図書館デザイ
ン会議)の開催について、事務局から説明をお願いする。
- 図書館長 資料については、5・5になる。

中央図書館開館を契機に、多くの市民ボランティアがさまざまな活動に関わってもらい、今後もよりよい図書館を目指してボランティア育成、参加しやすい活動を検討するための会議を2月から3月にかけて連続で開催するものである。2月16日までが参加メ切となっているので、ぜひ参加をお願いしたい。

会長 事務局から説明のあった報告2についてご意見等があれば発言をお願いします。

副会長 今回の市民ボランティア活動養成連続講座という名称で開催するのは、初めての試みか。

図書館長 初めての試みとなる。

副会長 チラシにはボランティアの名称が入っていないが、問題はないのか。

図書館長 ボランティアという名称を入れた上で会議を開催すると言葉だけで内容が絞られてしまうのではないかと懸念したことから、チラシにはあえて明記をしていない。

会長 しかしながら、内容はボランティア活動になるわけである。参加した方々が初めてボランティアなのかと知るようなことがあったら問題ではないのか。チラシのタイトルと乖離しないようにしてもらえばよい。

図書館長 乖離はしない内容となっている。

会長 報告3 図書館第V期コンピュータシステム機器更新について、事務局から説明をお願いします。

図書館長 資料はないので、口頭で説明する。

前回の平成30年度のシステムから更新するもので、令和6年6月に機器の更新をするものになる。今回の更新は、新しい機能が入るとか利用者向けの画面展開が変更するというものではない。入れ替えにあたっては、休館日を設ける。現在スケジュールを調整しているところである。全館対応となるので6月20日～30日の間でできるだけ短期間で作業ができるか調整し、利用者向けにはお知らせをする予定である。よって、令和6年7月1日から新しい図書館システムが稼働する。

会長 事務局から説明のあった報告3についてご意見等があれば発言をお願いします。

会長 業者の変更はあるのか。

- 図書館長 変更はない。機器が5年の借り上げなのでその更新となる。
- 会長 それ以外にご意見等があれば発言をお願いします。
- 委員 第二次多摩市読書活動推進計画では、読書活動推進計画と子どもの読書活動推進計画を一本化するということだが、それはいいと思うが、子ども読書におもきがおかれなくなってしまわないようにしてほしい。
- 図書館長 アンケート結果においてしっかり皆様の意見をいただいた上でまとめていく必要があると考えている。一本化することで計画の推進が後退していくことはない。子どもの計画は、アクションプランを作成した上で更新をしているので、次のステップになると考えている。
- 当日配布で来月実施の「ほんともフェスタ」のチラシを配布する。今までは2月～3月にかけて実施していたが、今年度は、7月に講演会、2月～3月に展示を中心に実施。また、3月の「ほんともフェスタ」開催にあわせて展示・お話し会・講座等を実施予定としているのでぜひご参加いただきたい。
- 委員 今までは、3月にまとめて実施していて、今年は分けて実施するとしたが、結果的には今後も3月にもお話し会等を実施している。今後もこのようなスケジュールで計画を立てていくのか。
- 企画運営主 当初は、分散させておはなし会は夏だけと考えていたが、好評であったことから3月に実施されるイベントにおいても開催することとした。来年度以降も同様な方向性で進められればと考えている。
- 講座については、今回は7月だけでなく3月にも開催するが、講師の都合等もあるので毎年3月に開催できるとは限らない。
- 委員 7月・3月と両方で実施していくということか。
- 委員 アンケートは、基本的に年度末に実施されるものなのか。
- 新規でとるアンケートがあったので以前も実施されているのか。
- 図書館長 計画の更新をする時にアンケートを実施しているので、今回は平成30年3月に実施した後のアンケートになる。その時の結果と比較するために同じ項目にしている。
- 委員 アンケートの回答項目に70代以上とそれ以上がある。これはどちらかにしてはどうか。

- 企画運営主 誤りであるので、修正する。また、パパママ、乳児健診用の
査 質問用紙の回答者の年代については、市民ボランティア会議で
もご指摘いただいたところであるが、他の対象者アンケートと
統一させていただいているのでこのようになっている。
- 委員 アンケートを配るときは、例えば小学生・中学生・高校生は、
紙に回答をしてその場で回収なのか。一旦、紙を自宅に回収す
るならば一般市民向けのアンケートも同時に配布したら回答率
が上がるのではないか。
- 図書館長 紙になるかタブレットになるか校長会を通して、検討中である。
アンケートを家庭に持ち帰ると回収率はよくないので、学校で
時間を設けていただきその場で、回収（回答）していただきたい
と考えている。
- 会長 本日の令和5年度第5回定例会は終了する。